

取材日 2020年8月12日

えべっあそび場創造プロジェクト

あそびの会 in まごころ with みなば



えべっあそび場創造プロジェクトは、子どもたちのあそび場、住民同士の交流の場を作ること、地域の施設と住民の繋がりを作ることを目的に、2019年度から活動を始めた団体です。1ヶ月に1

回のペースで、地域の施設などの交流スペースなどにミニ四駆・ボードゲームなどのおもちゃを持ち込み、広いスペースで子どもたちがのびのびと遊べる場を作っています。新型コロナウイルスの影響で休止していた所、メンバーの知人に紹介してもらった緑町の高齢者施設「まごころハウス」で、8月12日、今年度初めてのあそびの会を開催

出来ました。今回から、札幌市で多世代交流の場作りをしているNPO法人みなばが協力してくれることとなり、「まごころ食堂」という地域食堂を開催しました。大麻のよしたか農園さんが、地域食堂の食材と縁日セットを提供してくれたおかげで、お祭りの様な雰囲気の中で美味しいカレーをいただくことが出来ました。様々な方が集まるので、入場時の手指消毒、マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保等の感染症対策を徹底しています。

様々な団体と一緒に活動する事は、気をつけなければいけない事も多くなりますが、1つの団体だけでは出来ない大きな可能性が生まれます。この日は最終的に子供12名大人12名の合計24名の参加になりました。「今後えべっあそび場創造プロジェクトでは、屋外での活動も展開します。9月には、野幌中央緑地近辺を巡るミニ遠足、また、『江別にプレーパークを広める会』と協働して、大麻西公園でのプレーパークを一緒に楽しむ会を実施する予定です。」

※9月の両イベントは無事に開催されました。



取材日 2020年8月25日

北翔大学「居場所づくり支援 研究・実践グループ」

子ども食堂・地域食堂☆しんがんじ 食品配布会

北翔大学「居場所づくり支援 研究・実践グループ」による子ども食堂・地域食堂は、2017年12月から江別市内で活動を続けています。野幌商店街の「八丁目プラザのっぽ」での月1回の活動の他、2018年には、条丁目の眞願寺で2箇所目の子ども食堂・地域食堂を開いていました。

今年3月以降、新型コロナウイルス感染拡大防止のために開催を見合わせていましたが、地域の方からの「再開を待っている」という切実な声に何とか応えようという思いから、8月25日に「子ども食堂・地域食堂☆しんがんじ 食品配布会」を実施しました。

学生が参加出来ない中、日頃から協力してくれている地域のボランティアの方々や、お寺のボランティアの方々など、たくさんの方々の善意に支えられて開催に至ることが出来たとのこと。来場者にはマスク着用・手指消毒の徹底を呼びかけ、使い捨て手袋の配布や入場前の検温を実施。スタッフのマスク・フェイスシールドの着用、お寺の建物内での動線の区分など、考えられる感染症対策は全て実施したという話です。



眞願寺の石堂住職も、「来場者には、本来の形でゆっくり交流してもらえなくて残念だが、地域食堂の再開を決めたことを知らせたら、食材などを寄付して下さった住民がいた。そういう応援の声にも応えていきたい」と語ります。

普段の様に交流の時間が取れない中でも、スタッフと来場者の間で「久しぶり、どうしていた？」という会話が自然に生まれます。いつも来ている住民の方からは、「仲良しだけれど違う小学校に行っている子どもの友達とここで会うのを楽しみにしています。遊んでくれる学生さんたちにも早く会いたいです」という感想を頂きました。

代表の岩本先生は、「開催してみてもいいからいらして下さる方の気持ちを、改めて感じる事が出来ました。いち早く元の形で開催出来る様にしたいですね。」と話してくれました。



NPO法人 あじさい亭

取材日 2020年9月1日

ふれ合いサロンあじさい亭



大麻東町商店街にあるNPO法人あじさい亭が運営する「ふれ合いサロンあじさい亭」は、昨年開設10周年を迎えた地域の高齢者の交流の場です。喫茶店の跡地を仲間で改装して運営しているサロンは、喫茶コーナ

ーの他、曜日ごとに、川柳会・パソコン教室・脳トレ健康麻雀・笑いヨガなど、様々なプログラムを楽しめる賑わいの“出場所”です。今年の6月に北海道新聞のボランティア奨励賞を受賞しましたが、新型コロナウイルスの流行に伴い、2/2~3/23、4/17~5/6、5/7~7/1の期間、100日という長期の休業を余儀なくされました。

しかし、なんとか交流活動を続けていきたいという会員の要望に応え、7月2日から、まずはパソコン教室、次に脳トレ健康麻雀を再開しました。

再開にあたっては、あじさい亭全体の消毒を役員・スタッフ9名で1日かけ実施、入館時の検温や手指消毒・換気の徹底はもちろん、喫茶コーナーの一角を「感染症対策コーナー」として、スタッフや利用者が、会場や器物の除菌・消毒を行うためのスペースに改造しました。麻雀牌や点棒も、利用の都度こちらのコーナーで洗浄・消毒をしています。麻雀卓も除菌が容易で、設営も簡単なキャスター付き専用卓に更新するなど、様々な事例や業界の指針を参考にした感染症対策を実施しています。この他にも食卓を兼ねている会議卓を清潔感のある白色系のキャスター付きテーブルへの更新を図るなど、利用者の安全と安心の確保に努めています。



カラオケ・食事会など、まだ再開を検討中のものもありますが、「あじさい亭の仲間のチームワークでコロナ渦を乗り越え、あじさい亭の灯をともし続けていきたい」と船戸会長の決意の言葉をいただきました。